

楽しく美しい  
まちづくり通信 88

# シビックセンター 二戸の宝「春編」放送中

二戸市シビックセンター一階の地域情報センターでは、これまで夏から冬までの二戸の宝を映像で紹介してきました。このたび「春編」が完成し、四季折々の宝の映像を楽しんでいただけるようになりました。

長く厳しい冬を過ごした後の二戸の春は、雪解けのせせらぎとフキノトウで幕が開けます。

山あいの里に春を告げる足沢大平のミズバショウ、キタコブシなど、美しい情景が画面いっぱいになります。

また、養蜂やリングゴの授粉作業、馬淵川のクキ瀬漁など二戸の豊かな自然の恵みを受けながら引き継がれてきたなりわい、二戸に生きる動物、植物、そして人々が息吹や輝きを感じる瞬間が満載です。ご家族おそろいで、ご覧ください。



馬淵川のクキ瀬漁

## 宝の周辺整備に 市が費用を助成

平成十二年十一月、『二戸市宝を生かしたまちづくり条例』が制定され、市民が慣れ親しみ、誇りとし、はぐくまれてきた地域の自然や歴史、文化および人物を市の「宝」として定めまし

た。この条例は、市が目指すまちづくりの理念を明らかにしたものであり、宝を大切に作る生き方が二戸市のまちの個性です。今回、市民の皆さんと市が協力しながら宝を大切に作る風土をはぐくみ、先人の努力によって残されてきた現在の宝の保存、活用を図るため、「宝の周辺整備事業実施要綱」を定めましたのでお知らせします。

**事業内容** ①「宝」の周辺を地域の皆さんで整備する事業を対象に、それに要する費用（材料費、作業員費）の一部を市が提供します▽具体的事業事例 ②宝に至る道路の整備、宝を保存するための囲い作り、宝を中心とするポケットパーク作り

**実施手順** ①事業実施申請書（事業内容）の提出 ②宝を生かしたまちづくり推進委員会です業内容の審査 ③審査結果の通知 ④事業実施協定書の締結 ⑤事業

の実施 ⑥事業完了報告書の提出・完了検査 ⑦地域・団体の皆さんによる宝の維持管理

申請・問い合わせ先 市まちづくり推進課(25・5411、FAX 23・3548)

## ALT リンゼイさんありがとう ジェンさんよろしく

平成十二年八月から二戸市の外国語指導助手(ALT)として活躍していたシェパード・リンゼイさんが、七月で二年の任期を終え、ふるさとの英国・スコットランドへ帰国しました。八月からは同じ英国出身のジェネビーブ・ラブランドさんが外国語指導助手を務めます。シェパード・リンゼイさんには二年間の思い出を、ジェネビーブ・ラブランドさんにはこれからの抱負を伺いました。



間一さ  
年パイ  
2エゼ  
でシン  
またリ  
7務ド  
月めん



務める  
らビーブ  
からド  
8月  
ジェ  
ラブ

れずにいたいと思います」

「日本の文化、生活を経験し、とても楽しかったです。靴を脱ぐのに戸惑いましたが、二戸まわりの流し踊りに参加したり、学校で子どもに教えたり、教えてもらったりしたことが楽しかったです。二戸市の生徒はとても親しみやすく、よく勉強しました。生徒との出会いが一番思い出に残っています。良い思い出として二戸をして日本を忘

「はじめまして。わたしはジェネビーブ・ラブランドです。ジェンと呼んでください。スコットランドのエンジンバラから来ました。日本語はまだうまく話せませんが、頑張ります。生徒の皆さん、一緒に勉強しましょう。よろしくお願ひします」